

子どもの社会性をはぐくむ アナログゲーム



～ルールを守り合う成功体験をつくる～



アナログゲームとは、カードゲームやボードゲームといった、いわゆるコンピューターを介さないゲームのことです。このような遊びは、同じルールを守り合って楽しむ経験を積み重ねたり、集団参加のきっかけとなるなど、ただ余暇を過ごすためのグッズとしてだけでなく、子どもの社会性を育てるツールにもなります。

こうした遊びを通じて人と関わる経験を積み重ねていくことは実践的なコミュニケーション力を身に着けることにもつながり、将来の社会的自立につながっていきます。

今回の講座では、アナログゲームを用いて子どものコミュニケーション力や社会性を育む、「アナログゲーム療育」の考え方を元に、ゲームを介したお子さんとの関わり方や、発達段階に合わせた遊びの選び方、ルールの守り合いを楽しみながら学び、子どもの社会性を育てるポイントについて、学んでいきます。



日時

令和8年 **11月4日** (水)
9時45分～12時15分 (9時15分開場)

場所

えびな市民活動センター (海老名市さつき町51-2)
ビナレッジ 1階ホール

対象

主に4歳～12歳程度の児童を養育する保護者
児童に携わる福祉教育支援者等

※お子様連れでの参加はご遠慮ください。
また、講演中の託児は行っておりません、ご了承ください。

講師



アナログゲーム療育アドバイザー
放課後等デイサービスコンサルタント

松本 太一 氏

東京学芸大学大学院教育学研究科障害児教育専攻卒業教育学修士。在学中は自閉症児療育の「太田ステージ」開発者である太田昌孝の指導のもと、東大付属病院や通級指導教室でソーシャル・スキル・トレーニングの実践研究を行う。卒業後は、福祉団体や人材紹介会社で成人発達障害者の就労支援に携わったのち、放課後等デイサービスに勤務。市販のカードゲームやボードゲームを用いてコミュニケーション力を育てる「アナログゲーム療育」を開発する。その後独立し、「放課後等デイサービスコンサルタント・アナログゲーム療育アドバイザー」として全国100ヶ所を超える放課後等デイサービスの研修・コンサルティングを行ってきた。

神奈川県発達障害支援センターかながわA (エース)
神奈川県立総合療育相談センター

TEL : 0466-84-0871 平日8:30～17:15

メール : nakaya.1356.sien@pref.kanagawa.lg.jp

問合せ

神奈川県

お申込み方法

e-kanagawa電子申請

「神奈川県発達障害支援センターかながわA家族向け講座」とインターネットで検索またはチラシ記載の二次元コードよりお申し込みください。

神奈川県発達障害支援センター家族向け講座



電話

神奈川県発達障害支援センターかながわA（エース）
神奈川県立総合療育相談センター

☎0466-84-0871

申込み期間 令和8年10月1日 9時～10月28日 24時

※利用者登録なしでご応募可能です。
※個人情報を本事業以外に使用することはありません。
※申込は先着順のため、定員を超えた場合、参加できない場合がございます。

えびな市民活動センター ピナレッジ・ピナスポ



えびな市民活動センター
ピナレッジ 1階ホール
海老名市さつき町51-2

- 小田急線・JR相模線「厚木駅」徒歩10分
- 小田急線・相模線「海老名駅」徒歩20分

[お問合せ先] 神奈川県発達障害支援センターかながわA（エース）（神奈川県立総合療育相談センター）

TEL：0466-84-0871（直通） 平日8：30～17：15

メール：nakaya.1356.sien@pref.kanagawa.lg.jp